

Business Report

第102期 株主通信

2025.04.01 ▶ 2026.03.31

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

ここに、第102期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における事業概況についてご報告申し上げます。

2026年6月

代表取締役社長

清水哲也



★ 当期の業績について教えてください。

★ 当期は、主要需要先である自動車関連の受注は前年並みとなり、売上収益は、前期比31億84百万円増収の5,781億29百万円となりました。

一方、コスト面では、主要原材料の鉄スクラップ価格は、高い水準で推移し、年度末にかけて上昇基調となりました。また、ニッケル価格は、おおむね安定して推移しましたが、2026年1月以降は上昇する場面も見られました。全般的に原燃料価格は高位でしたが、徹底したコスト削減および販売価格への反映に継続して取り組み、適正マージン確保に努めました。

この結果、当期における営業利益は、前期比26億73百万円増益の420億81百万円、税引前利益は前期比21億3百万円増益の447億56百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比42億91百万円増益の326億5百万円となりました。

なお、2025年度期末配当は27円/株としており、中間配当22円/株と合わせ、年間配当49円/株（前年度対比2円増配）となります。

★ 事業を取り巻く環境や今後の取り組みについて教えてください。

★ 中東情勢、米国の通商政策や中国の重希土類の輸出規制に伴う影響で、国際的なサプライチェーンの分断リスクや物価・金利・為替変動による世界経済の不確実性が高まっているほか、地政学リスクも懸念されます。

当社の主要需要先では、自動車向けが中国・ASEANでの日系メーカーのシェア低下等により減少していますが、産業機械は2025年度後半にかけて緩やかに回復し、また、半導体製造装置向けはAI需要拡大で受注増が期待されます。自由鍛造品は航空機・船舶・重電向けが堅調であり、調整局面が継続していた掘削関連は原油市況の変動を受けて需要動向にも変化が生じる可能性があります。

収益面では、コスト削減の徹底と価格転嫁により利益確保を図るとともに、需要動向に応じた生産体制の見直しや投資の選別を進めています。

当社は、厳しい外部環境の中でも、半導体関連設備や自動車向け磁石の生産体制強化、さらに航空・宇宙やエネルギー分野の需要拡大を見据えた大型投資を進めており、事業ポートフォリオの転換を図ることで持続的な成長を目指してまいります。

業績ハイライト

業績ハイライトについて詳しくはこちら



売上収益 (億円)

5,781 億円
前期比 **0.6%増**

営業利益 (億円)

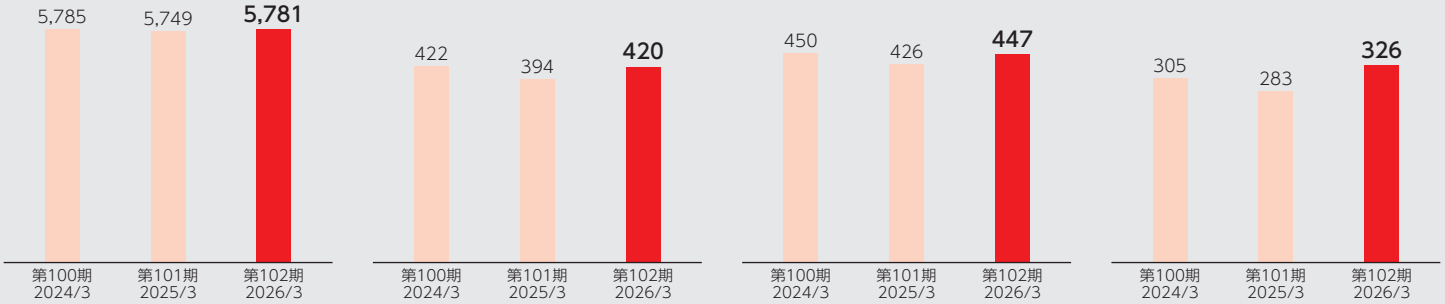
420 億円
前期比 **6.8%増**

税引前利益 (億円)

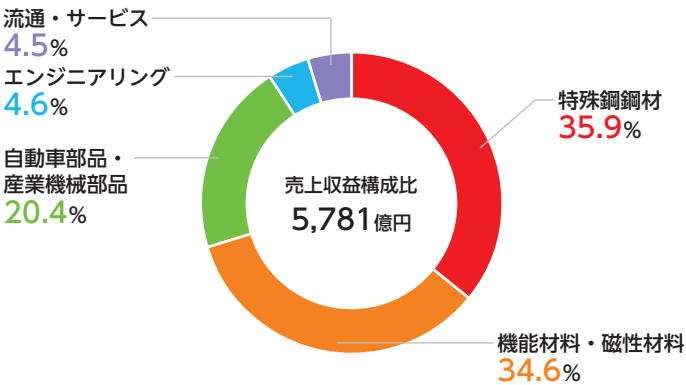
447 億円
前期比 **4.9%増**

親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)

326 億円
前期比 **15.2%増**



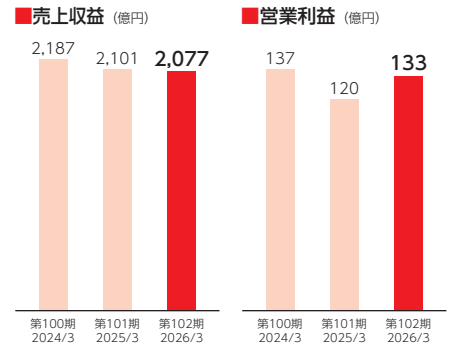
事業別の概況



特殊鋼鋼材



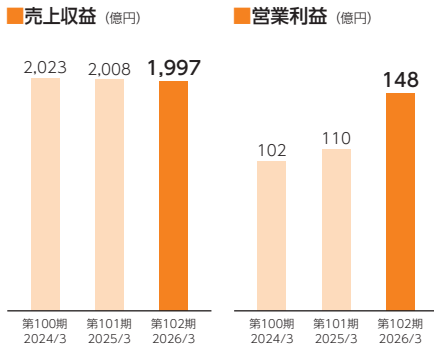
自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料の製造・加工・販売など



機能材料・磁性材料



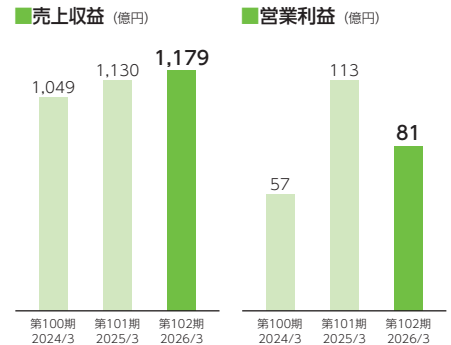
ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料、磁石製品、粉末製品 (HEV用磁性粉末等)、チタン材料製品 (医療用チタン合金等)の製造・加工・販売など



自動車部品・産業機械部品



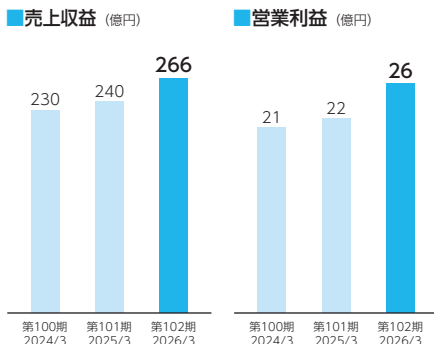
型鍛造品・熱間精密鍛造品 (自動車・ベアリング向け部品等)、自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削・宇宙・航空機用部品等)、精密鋳造品、鋳鋼品の製造・加工・販売など



エンジニアリング



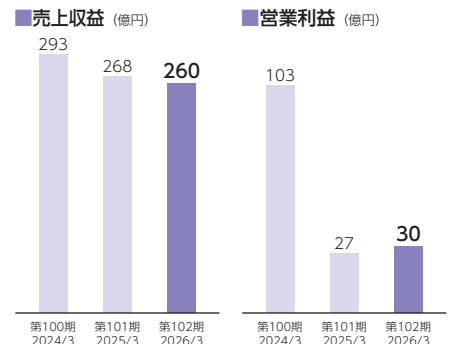
鉄鋼設備、各種工業炉・付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等の設計・施工・保守管理



流通・サービス



福利厚生サービス、不動産・保険事業、ゴルフ場経営など





1. 日本高周波鋼業を完全子会社化

当社は2026年2月2日に、日本高周波鋼業(株)の全株式を(株)神戸製鋼所から取得し、完全子会社化しました。

日本高周波鋼業の特殊鋼事業を取得することで、以下のようなシナジー効果を期待しています。

- (1) 生産アロケーション・生産レイアウト最適化による生産効率性の向上、生産量・生産ロットの拡大、コストダウン、および重複投資の抑制
- (2) 当社グループが持つ国内外の広範なネットワークの活用によるプレゼンスの向上、および売上拡大
- (3) 各機能の共有化・集約化によるリソースの最適化、および流通機能の統合



これにより、大同特殊鋼グループのさらなる企業価値向上を目指します。

2. 3度目の「健康経営銘柄」、3年連続・7度目の「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定

当社は2026年3月に、経済産業省および東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄2026」に3度目の認定を受けました。また、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、大規模法人部門における「健康経営優良法人」に9年連続、上位500法人が認定される「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも3年連続で認定されました。

当社は、各事業場所所属の産業保健スタッフによる、社員一人ひとりに寄り添った支援体制を整えています。全社員を対象にした健診事後措置面談や、心のケアといった個人の健康サポートのほか、「出前教室」と呼ばれる職場への出張教育を通じて、安全安心な職場づくりに向けた啓発活動にも取り組んでいます。

2025年には「全社ウォーキングイベント」を開催し、全社員の9割超が参加しました。



3. 個人投資家向け紹介動画を公開中

個人投資家向けYouTubeチャンネル「ディスカフ Powerd by 日興アイ・アール」にて、当社の動画が公開されています。当社の成長戦略や株主還元などについて、投資系インフルエンサー「妄想する決算」氏との対談を通じてわかりやすく説明しています。ぜひご視聴ください。



紹介動画はこちらから
ご覧いただけます！



大同特殊鋼のサステナビリティ



詳しくはこちら！



ササに覆われた森を再び豊かに ～大同特殊鋼の森づくり～

日本最北のラムサール条約登録湿地、クッチャロ湖畔にある森を、半世紀以上にわたり保有し続けています。

森の一部には、山火事などにより一面をササが覆いつくしたエリアがありました。このササ原を、ふたたび豊かな森へ。

大同特殊鋼は森づくり活動に取り組んでいます。



※「大同特殊鋼の森づくり」は、「環境スペシャルサイト」トップページの、こぎつねのパナーをクリック

工場見学会のご案内



株主の皆様にご理解を一層深めていただけるよう、工場見学会を開催いたします。今回は当社主力工場である知多工場において、150トン大型電気炉、特殊鋼製品の生産工程等をご見学いただくことができますので、この機会に是非ご応募ください。

ご応募方法

当社ホームページからご応募ください。 <https://www.daido.co.jp/ask/kengaku.html>



締切 7月24日 (金) 18:00

- 同伴者様1名までお申込可です。(同伴者様は小学生以上とさせていただきます。)
- ご応募の際、同封の「配当金計算書」に記載しております株主番号を必ずご入力ください。
- ご応募はお一人様1回のみ、応募多数の場合は抽選とさせていただきます、**当選者の方へのみ8月下旬にご案内を郵送いたします。**
- 官製ハガキでのご応募受付は終了いたしました。何卒ご容赦の程お願い申し上げます。

日時	2026年11月23日 (月祝) 13:30~17:00
見学場所	当社 知多工場 (愛知県東海市元浜町39)
募集人数	40名程度
対象	2026年3月31日現在で100株以上保有されている株主様
集合場所	名鉄常滑線・河和線太田川駅付近 (集合場所の詳細は当選者の方に別途ご連絡いたします)
参加費	無料

お問合せ先

大同特殊鋼株式会社 総務部 (工場見学係)

電話：052-963-7501

(9:00~18:00 土日祝ならびに当社夏季休業期間
(7月29日~8月5日)を除く)

- 天候等の事由により工場見学会を中止する場合がございます。また終了時刻は工場稼働状況により前後する場合がございます。あらかじめご了承賜りますようお願い申し上げます。
- 集合場所までの往復交通費は参加者様にてご負担ください。また駐車場のご用意はございませんのでご了承ください。
- 当選の権利の譲渡はできません。当選された株主様ご本人がご参加ください。ただし同伴者様は変更可能ですので、その場合は上記の工場見学係までご連絡ください。

★ ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報をはじめ製品情報、IR情報、サステナビリティに関する情報も掲載しています。ぜひご覧ください！



IR情報



コーポレートサイト



サステナビリティサイト



株主アンケート

みなさまの **声** を
お聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスキー は紙面をご確認ください

抽選でギフト券を進呈!

サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局
koekiku@pronexus.co.jp

コエキク